

農村社会・生活

講師名	熊谷 智義、農業者等	実務経験等	熊谷氏：民間会社の地域計画コンサルタントとしての経験を活かし、地域の活性化、地域資源の活用など実際のまちづくりについて講義を行う。
-----	------------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	必修	1	通年	15	1
使用教科書・副教材	講師作成のプリント等					
授業の目的	地域と密着した産業である農業を取り巻く社会の変遷や現状を様々な角度から学習し、地域活性化の新しい動きを学習する。					
授業の到達目標	農村社会の変化とその課題及び地域資源の活用について考察し、自らの意思や判断を表すことができる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
6月2日	農林水産部長講話	岩手県農政について理解を深める。	4	講話	農林水産部長 レポート
6月25日	地域の活性化	地域活性化の核となり得るものや地域活性化の具体的事例について学習する。	4	講義	熊谷智義
7月14日	地域資源の活用	農業・農村の多面的機能及びその具体的事例について学習する。	4	講義	熊谷智義
11月6日	篤農家の取組事例	県内先進経営体の取組内容、地域との連携事例等について学習する。	4	講義	農業者等 レポート
		合計	16	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

レポートの評価、出席状況、受講態度により評価する。

評価割合：レポート70%、平常点30%

履修に当たっての留意点等

授業形態は講師作成のプリント等で行う。